

しぜん がくしゅうかん だよ トキと自然の学習館 便り

がっ できごと
～11月の出来事～

れいわ ねん がっ
令和2年11月
VOL.37



できごと
出来事

①

はくちょうひらい 白鳥飛来



みぎ わ ようちょう
右2羽が幼鳥

がくしゅうかんちか た ことし はくちょう み じき
学習館近くの田んぼで、今年もたくさんの白鳥が見られる時期になりました。よ～くみると、群れの中に灰色の羽の白鳥がいます。北極海に面したロシアのツンドラ地帯で7月頃に生まれた幼鳥です。生後3カ月ほどで、4,000kmもの長旅をして親鳥とともに日本に渡って来ます。

けんない とや のがた さかた ふくしまがた
県内にある鳥屋野潟、佐潟、福島潟、
ひょうこ ひらい はくちょう まいとし がっ
瓢湖に飛来する白鳥は、毎年11月
には20,000羽にも達すると言われ



はくちょう む
白鳥の群れ

ています。これらの湖沼をねぐらとしていますが、早朝には飛び立ってお気に入りの田んぼで落穂などを食べて、夕方にはねぐらに帰ります。

けんがい らいかんしゃ なか た とり む なん き かた こうけい おどろ
県外からの来館者の中には「田んぼにいる鳥の群れは何ですか」と聞かれる方がいて、その光景に驚かれています。安全なねぐらとなる湖沼や、エサ場となる越後平野の田んぼは、白鳥が越冬するための大事な役割を担っているようです。

とり 鳥インフルエンザ対策

できごと
出来事
②

がっ はい こくない とり
11月に入り、国内で鳥インフルエンザが確認されています。鳥インフルエンザとは、鳥類に対して
かんせんせい しめ がた
感染性を示すA型インフルエンザウイルスによる感染症の事です。その中でも、鶏に感染した場合
たか ひりつ しぼう
に高い比率で死亡してしまうようなものが、高病原性鳥インフルエンザと言われています。



しょうどくそう はい くろま
消毒槽に入る車

がくしゅうかん
学習館では、トキへの感染を防止するため、車のタイヤは消毒槽と消石灰
しょうどく
で消毒、トキみ～ての来館者には入りぐち しょうどくえき せんが
入り口で消毒液を散布したマットを踏んで
くつそこ しょうどく きょうりよく
もらい、靴床の消毒にご協力いただいています。



しょうせっかい ようす
消石灰をまく様子

がっ にち 30 にち あがのし ひょうこ みず べん こうびょうげんせいとり
11月25日、30日には阿賀野市にある瓢湖の水・ふん便から高病原性鳥イン
けんしゆつ はっぴょう いま きんちよう ひび つづ
フルエンザウイルスが検出されたと発表があり、今も緊張した日々が続いています。